



〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4

TEL (0263)53-8802

FAX (0263)51-1290

E-mail : sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次

「センター評議員会 開催」	p.1
「今年度の研修講座の様子」	p.2
「ちょっと校内研修」	p.3

センター評議員会 開催

令和7年度長野県総合教育センター評議員会が9月30日（火）、オンラインと参集を併せた形で開催されました。

評議員のみなさんは研修講座を見学し、先生方が講義を熱心に聴く姿や、対話を重ねながら互いに学びを深めている様子に見入っていました。その後の評議員会では、会場とオンラインの双方で、活発な意見交換が行われ、組織や事業の概要報告を通して、センターの運営や今後の役割への期待が語されました。

様々なお立場から貴重なご意見をいただきました。今後の事業運営、研修づくりに反映させてまいります。

出席評議員（敬称略）

牛越 雅紀	長野県中学校長会 会長（座長）
腰原 智達	長野県高等学校長会 副会長
宮下 直久	長野県特別支援学校校長会 副会長
青柳 信雄	塩尻市中央公民館 館長
近藤 守	長野県市町村教育委員会連絡協議会 会長
田邊 造	公立諏訪東京理科大学工学部情報応用工学科教授
滝沢 克子	信濃教育会教育研究所 部長
堀江 三定	長野県産業教育振興会 会長
伊藤 かおる	株式会社コミュニケーションズ・アイ代表取締役社長
西川 友人	松本大学教育学部教職支援室 専門員

[評議員会でいただいたご意見（抜粋）]

- ◆部活動の地域移行について、学校体育と地域部活の連携可能性を探ってほしい。地域ゼミで地域や学校連携を進めている。学校や地域との連携を推進する窓口がある企業や団体がある。そういった事業をうまく活用して、プロの指導者による教員支援も必要ではないか。
- ◆日本の教科書は問題が少ない。ダウンロード可能な問題は重要。質のいいものを作りて更新していってほしい。
- ◆研修講座の選択時に役に立つように、研修体系がわかるようなものがあると受講者が選びやすのではないか。
- ◆特別支援の講座の受講者は増加しているのか。特別支援学校以外の先生にも需要がたかまっているのではないか。
- ◆受講者が増加しているのはいい傾向である。対話を通じた学びの広がりの研修は評価できる。先生方の使命感ややりがいを搖さぶる内容の研修を行ってほしい。

児童生徒理解と課題への対応Ⅰ ～情報活用能力としての情報モラル教育～



研修講座の内容・様子

「GIGAワークブック」の共同開発者、静岡大学教育学部 准教授 塩田真吾先生による研修講座です。近年、児童生徒のトラブルの原因として多くあがるのはSNSであり、その使い方の指導に苦慮されている先生方は多いのではないかでしょうか？この研修講座では、「GIGAワークブック」や、塩田先生が研究開発されたワークシート等を用いて、自分と他人との感覚の違いや、問題を自分事として捉えるためにはどうすればよいのかを、体験的にわかりやすく教えていただきました。受講者のふりかえりからも、学んだことを使ってみたいとの声が多くあり、非常に満足度の高い研修講座となりました。

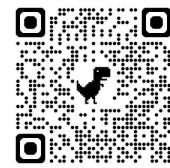
受講者の声



- 今回の研修で「カード分類比較法」や「場面強制想像法」を体験してみて、「自分だったら」という気持ちで考えることができたので、これからに生かせそうだと感じた。
- GIGAワークブックを様々な場面で活用したいと思いました。そして何らかのリスクについて自覚を促したいときには、今日の研修で学ばせていただいた場面強制想像法を活用したいと思います。

～教材のご紹介～

静岡大学教育学部 塩田真吾研究室 (<https://shiotashingo.main.jp>) で公開されている教材の一部をご紹介します。こちらのホームページには他にも多数の教材が掲載されています。二次元コードからぜひホームページを訪れてみてください。情報モラル教育実施の際は、「GIGAワークブック信州」と塩田先生の教材を活用してみるのはいかがでしょうか？



塩田先生の研究室

GIGAワークブック信州

リスクのものさし

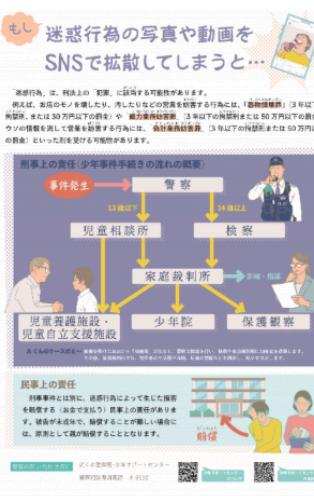


リスクのものさしでは「痛い」や「嫌だ」などの人によって感じ方の違う感覚を他者にもわかりやすく、その程度が伝わるようなレベルが作られています。教室に掲示するなどしてもよいかもしれません。

飲食店での迷惑行為を考えよう



場面強制想像法は「やっちゃんダメ」と指導するのではなく、「こんな状況だったら自分もやってしまうかもしれない」と想像させ、児童生徒が問題を自分ごととして考えやすくなります。



ちょこっと 校内研修

【カード分類比較法を体験してみよう】 所要時間 15分

ねらい GIGAワークブック信州（アドバンスト版 p7、8）の教材を体験し、授業等で実践するきっかけをつくる



以下の取組①～③を行い（5分）、4名程度のグループで共有・対話しましょう（7分）

① あなたが、SNS等でクラスの友達からされて「嫌だ」と感じる順に並べてみましょう。



②(A) 一番「嫌だ」と感じるカードを選んだ理由を書きましょう。

②(B) 一番「嫌ではない」と感じるカードを選んだ理由を書きましょう。



③ たかしさんと花子さんに、どのようなトラブルが起きる可能性があるか、考えてみましょう。

ちょこっとふりかえり（3分）

- 自分が「嫌ではない」と思っていたことが、相手にとって「嫌なこと」であるなど、理由とともに違いは認識できましたか？
- 「自分がされて嫌なことは、相手にもしない」は適切ですか？
- 他に気づいたことはどんなことでしょうか？